



令和7年度 第3回 上鶴間高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和7年12月24日（水）15:45～17:00

場 所：上鶴間高等学校 会議室

出席者：学校運営協議会委員7名（欠席2名）校長、副校長、教頭、事務長、各GL

次 第：

1 校長挨拶

2 令和7年度学校評価中間報告（各GL）

（学校推進グループ）

- ・学校広報活動の一環として9月にInstagramを開設した。
- ・特別募集生徒履修科目「職業と生活」は学んだ知識が社会に出て役立つよう工夫している。

（学習支援・ICTグループ）

- ・授業改善の一環として「生成AI活用研究授業」を校内外向けに実施した。
- ・台湾・韓国とのオンライン交流を実施し、本校生徒の外国語運用能力の向上と異文化理解の深化・充実を図ることができた。

（生活指導グループ）

- ・自転車通学生徒が9割近くいるため、事故・苦情件数が多い。交通安全啓発事業として「スクエアードストレート」を実施した。

（進路指導グループ）

- ・現時点での3年生の進路状況については、指定校推薦が昨年度より減少し、総合型が増加している。インターンシップ参加者数は約20名程度であった。
- ・「総合的な探究の時間」発表会で、1年生はポスターセッション形式で実施した。

（生徒サポートグループ）

- ・生徒会本部役員を筆頭に地域連携事業を複数回実施し、学校への帰属感やコミュニティーの一員であるという意識を高めることができた。11月には花火大会を実施し、近隣住民にも楽しんでいただいた。また、文化祭の収益を地域の「こども食堂」に寄付し、表彰を受けた。

（学校管理グループ）

- ・PTA16委員会が活発に活動している。
- ・生徒が地域清掃活動を行ったが、街がきれいで拾うごみがなかった。

3 質疑及び意見聴取

委員 A	Q	生成AIを使った授業の成果と課題及び解決策を教えてください。
	A	最終結果だけではなく、その過程が大事である。作文や発表原稿、作品等、生成AIが作成したものをそのまま使うのではなく、生成AIと対話しながら、より良いものを作ろうとしている。
	Q	今年は生徒会役員数が増加と聞いたが、何か生徒の主体性を重視した取組がなされているのか。
	A	担任の呼びかけもあったが、今年は意欲的、積極的な生徒が多い。

委員 B	Q 希望通りの進路を実現している生徒はどのくらいいるのか。 A 総合型選抜をいくつも受けている生徒もあるが、大半は希望通りである。生徒本人の気持ちを確認しながら進めている。
委員 C	Q 地域住民から見て、自転車の並走等が減少しているように見えるがどうか。 A 定期的に立番・巡回指導を行っている。教員がいるときは良いが、不在の時はわからない。地域住民からそのような評価をいただけるのはありがたい。 Q 生徒が参加する地域ボランティア活動は、手際が良い等、評判が良い。参加を促しているのか A 一部の生徒は協力的で、自発的に参加している。
委員 D	Q 長期欠席の生徒はどのくらいいるのか。進路変更する生徒はいるのか。生徒の生活状況はどうか。 A 長欠、進路変更生徒は一定数いる。精神的に課題を抱えている生徒は多い。
委員 E	・中学校も不登校生徒が多いため、別室対応するシステムもある。来年は校内支援センターを設置予定である。
委員 F	・PTA活動が活発でない学校もある。もはやPTAが解散している学校もあると聞いている。不登校生徒は全体で2,000名を超えたとの報告ある。高校入学後そのようなことにならないようご協力いただきたい。学校から具体的な協力要請があれば、PTAでも対応できる。

第3回地域連携部会 16:45～17:00

☆学校より

・今年度の学校教育活動の成果と課題に係る中間検証は、配付資料と各G Lからの報告の通りである。本日、各委員からいただいた忌憚のないご意見を、今後の学校教育改善に役立てたい。